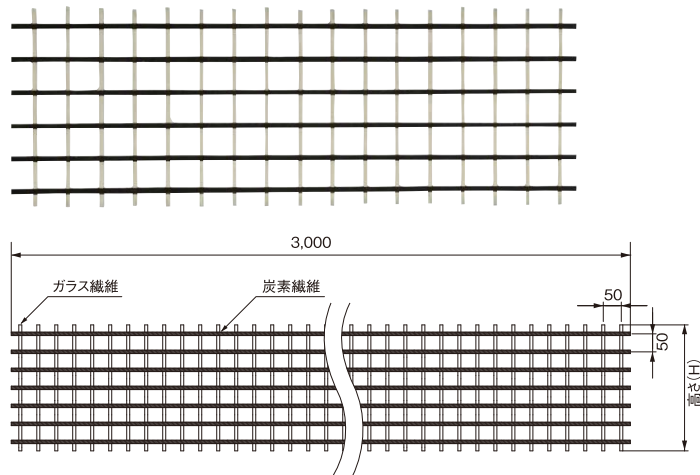
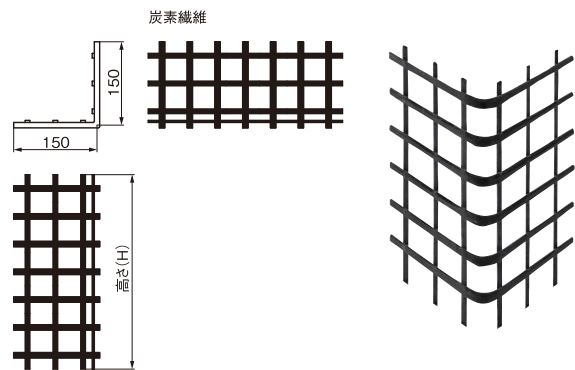


FRPグリッド



コーナー用グリッド



アンカーピン



ライオンボンドA



テストピースセット



ERモルタル



FRPグリッド基礎補強工法 価格表

品名	品番	梱包	長さ	高さ	正価
FRPグリッド	FRP-CGR6-H25-L30	1枚	3,000mm	250mm	41,500円/枚
	FRP-CGR6-H30-L30			300mm	55,000円/枚
	FRP-CGR6-H35-L30			350mm	65,850円/枚
	FRP-CGR6-H40-L30			400mm	75,200円/枚
コーナー用グリッド	FRP-CGR6SDI-H25	1コ	150mm	250mm	5,880円/コ
	FRP-CGR6SDI-H30			300mm	7,500円/コ
	FRP-CGR6SDI-H35			350mm	8,820円/コ
	FRP-CGR6SDI-H40			400mm	9,960円/コ
FRPグリッド	FRP-CGR8-H25-L30	1枚	3,000mm	250mm	58,500円/枚
	FRP-CGR8-H30-L30			300mm	77,750円/枚
	FRP-CGR8-H35-L30			350mm	93,100円/枚
	FRP-CGR8-H40-L30			400mm	106,200円/枚
ERモルタル	FRP-PCM-20	1袋	—	—	15,300円/袋
ライオンボンドA	FRP-RB-6	1箱	—	—	32,100円/箱
アンカーピン	FRP-STLF530	100本/箱	—	—	56,800円/箱
テストピースセット	FRP-TP	3コ/ケース	—	—	—

特注加工も承ります。

FRPグリッドは、上下50mm幅単位のオーダーカットを承ります。
※納期・価格等の詳細は最寄りの支店・営業所までお問い合わせください。

FRPグリッド基礎補強工法技術委員会 構成会社【技術評価共同取得会社】

日鉄ケミカル&マテリアル株式会社
モリマーマテックス株式会社・城東テクノ株式会社
住友大阪セメント株式会社・株式会社地研工業

施工動画▶



城東テクノ株式会社
ユニークな建材で長持ち住まいをささえます。

本製品に関するお問い合わせは
ダイヤル【J】0120-106011
受付時間(土・日・祝を除く) 9:00~12:00/13:00~16:00

城東テクノホームページ
Joto
https://www.joto.com



Information ※Joto製品は、PL法に基づく製品保証体制を取っております。※掲載の正価には、消費税は含まれておりません。※仕様・価格は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。
※写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。現物またはサンプルなどにてご確認ください。

Joto

住宅の耐震性UPは、建物だけでなく「**基礎の補強**」も必要です

建物の耐震補強効果を高めるため、補強箇所の基礎と影響範囲を補強

住宅基礎耐震補強工法

FRPグリッド基礎補強工法

炭素繊維とガラス繊維で格子状に成形された補強材料をアンカーピンで固定し、
ポリマーセメントモルタルを塗り込んで接着・固定することにより基礎を補強する。
狭いスペースや住みながらの基礎補強工事が可能！

4つの特長

耐震性に優れる

／ 現行RC基礎相当の耐震強度が実現可能。

施工性に優れる

／ 運搬が容易で重機も不要。また、境界壁等を撤去せずに狭いスペースでの
施工や現場での薬品類の使用もなく、住みながらの施工が可能。

配管、雨どい等の移設が不要

／ 配管、雨どい等の移設がいらず、室外機も最低限の移設で施工が可能。

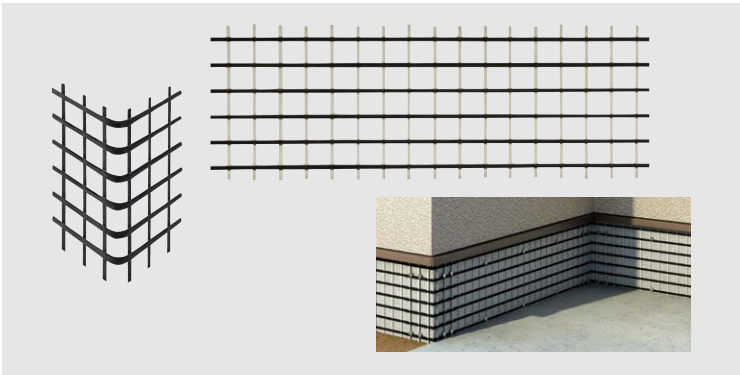
短工期で経済性に優れる

／ 床を剥がさずに施工する事が可能で最短3日での施工も可能。

技術評価：2024年2月1日 一般財団法人 日本建築防災協会 評価番号 DPA-住技-52-2

製造元：日鉄ケミカル&マテリアル株式会社 総販売元：城東テクノ株式会社

商品特長



炭素繊維、ガラス繊維を樹脂で成形した
繊維強化プラスチック製の格子筋 [FRPグリッド]

- 鉄筋と比較して、軽量でありながら、引張り強度は数倍、また錆びない
*CGR-6の場合： 重量0.975kg/m²
引張り強度は鉄筋に比べて、横筋（炭素繊維）は約5倍
縦筋（ガラス繊維）は約2倍
- 高さ特注可：H200～H2,000mmまで（50mm単位）



高性能短繊維入り
モルタル [ERモルタル]

- 骨材不要（配合済み）で、
水と練り合わせるだけ
- 付着性、耐久性に優れている
*規格値：付着強度 1.5N/mm² 圧縮強度 45N/mm²



FRPグリッドとポリマーセメントモルタルを併用することで

- ・ 既設のコンクリートとERモルタルが一体化
- ・ FRPグリッドが引張り力を負担するため、既設基礎が負担する応力、たわみを低減し、耐力を大幅に改善する事ができる
- ・ FRPグリッドは錆が発生しないので、かぶり厚さを薄くできる事により、平均塗り厚15mmと薄く仕上げられる

本工法は、施工性に優れた工法であることから上部構造の補強と併用することが容易で、
合理的な耐震改修工事やリフォームに合わせた耐震改修工事が可能です。

適用要件

A 対象建築物

建物用途	木造住宅、または特殊なものを除く学校校舎、幼稚園舎等の木造建築物
構法	在来軸組構法、伝統的構法、枠組壁構法
規模	3階建て以下、住宅では500㎡以下

B 対象基礎の種類

適用可能			
無筋コンクリート	基礎Ⅱ	ひび割れなし	
無筋コンクリート	基礎Ⅱ	軽微なひび割れがある（ひび割れ幅0.3mm以下）	
有筋コンクリート	基礎Ⅱ	軽微なひび割れがある（ひび割れ幅0.3mm以下）	
補修後 適用可能			
無筋コンクリート	基礎Ⅲ	ひび割れがある（ひび割れ幅0.3mmを超え1mm以下）	
有筋コンクリート	基礎Ⅱ	ひび割れがある（ひび割れ幅0.3mmを超え1mm以下）	
有筋コンクリート	基礎Ⅱ	ひび割れがある（ひび割れ幅1mmを超え3mm以下）	

C 対象基礎の寸法・コンクリート強度

寸法	基礎幅120mm以上・基礎高300mm以上・換気孔幅：300mm以下、高150mm以下
強度	コンクリート圧縮強度 13.5N/mm ² 以上

* 不同沈下等の不具合がある場合は、別途修正等の処置を実施し、進行がない場合に適用できる

施工手順

1 事前処理



ひび割れ等補修、化粧モルタルの撤去
ひび割れ注入、断面補修等の処理を施し、
表面の化粧モルタルを撤去する。

2 下地処理



ケレン（表面を平滑処理）
既設コンクリート面の脆弱部や油脂等を除去し、
平滑に処理する。

3 グリッド取付け



グリッドを固定
●専用アンカーピンにて水平方向に300mm以下。
鉛直方向には上下2カ所設置する。
●グリッド上下に被覆代を10mm確保する。
●継手は縦筋3本以上（150mm）重なる。

4 プライマー
塗布



付着強度の確保
ERモルタルの付着強度を得る処理。
ドライアウトによる付着低下を防止
するため、所定のプライマーを塗布。
（原液：水＝1：2に希釈）

5 ERモルタル
塗り込み



ERモルタル塗り込み
FRPグリッドの格子内に確実に
充填する。所定の厚さ（15mm）に
なるよう仕上げる。
（水：3.0～3.4kgに対しERモルタル：1袋20kg）

6 グリッド
露出部処理



FRPグリッドの保護塗装
紫外線対策のため、換気口部分の
露出したFRPグリッドの
保護塗装を行う。

7 完成



報告書の提出
施工報告書と施工チェックシート
を作成し、お客様に提出し、
施工チェックシートは、
FRPグリッド基礎補強工法
技術委員会にも提出。

認定要件



FRPグリッド基礎補強工法を設計・施工するには、
FRPグリッド基礎補強工法技術委員会が開催する講習を受講し、
認定が必要です。（製品ご発注には、講習修了認定番号が必要です。）

FRPグリッド基礎補強工法 設計施工技術講習会 講習修了証



・設計者用（施工・施工管理） ・施工・施工管理者用

認定の資格要件

設計者〔施工管理者〕認定			
建築士の資格 (一級建築士、二級建築士、木造建築士) を有する者	+	「国土交通大臣登録木造耐震診断資格者講習」 (同等以上の内容を有する講習と国土交通大臣 が認めたものを含む)の受講修了者	
		+	FRPグリッド基礎補強工法技術委員会が 開催する設計施工技術講習会において 技術指導を受け、認定された者

施工者・施工管理者 認定
FRPグリッド基礎補強工法技術委員会が開催する設計施工技術講習会において技術指導を受け、認定された者